

備前市施策評価シート

(平成22年度事業)

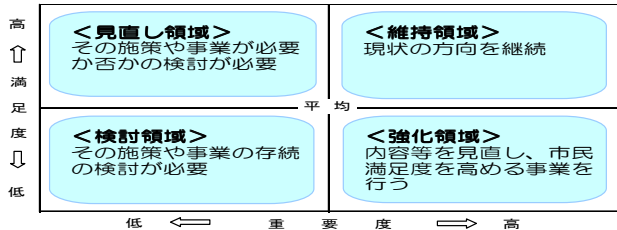
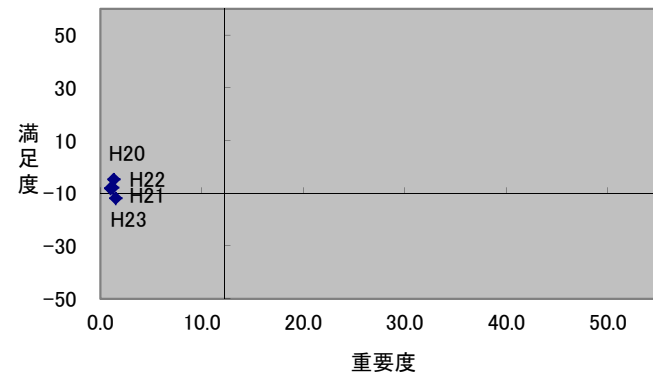
施策名 (小項目)	地域間・国際交流	コード	作成者	役職	まちづくり推進課長
		05-02-01	作成者	氏名	植田 明彦
				電話	64-1823
				このシート作成に要した時間	3.0 時間

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	基本目標(大項目)	住民主体の協働のまちづくり
	基本施策(中項目)	ふれあい豊かなまちづくり
① 対象と目的 (誰のために、何のために)	市民一人ひとりが国際感覚を身に付け、誰もが暮らしやすいまちを目指す。また、青少年の時から国際感覚を身に付け、グローバルな視野を持った人材を育成するため。	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	本市は、オーストラリアのクリア&ギルバートバレー町との姉妹都市縁組、韓国蔚山広域市東区文化院との文化交流協定を締結しており、青少年による相互交流を行っている。今後は、本市の地域資源を活用し、他地域(市内・他市町村)との人的交流を促進するほか、交流地域や学校・国際交流関係機関との連携を図りながら、文化やスポーツ、観光などをはじめとする交流事業に取り組み、グローバルな視野を持った人材を育成する必要がある。また、地域間交流では、日生の大多府地区と高梁市布寄地区との相互交流事業が継続して行われている。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 地域間の交流事業の推進 外国人との交流の促進 外国との交流事業の推進 外国人への支援 	

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H20	H21	H22	H23
重要度(%)	1.3	1.2	1.0	1.5
満足度(%)	-4.6	-7.8	-8.1	-11.8



調査結果に対するコメント、市民の反応等	満足度も重要度も低く、市民の関心は低い。しかしながら、国際化は一層進展しているため、青少年の国際交流事業は活発化させる必要がある。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H20	H21	H22		H23	H28
成果指標 八塔寺国際交流ヴィラ利用者数	目標	人	850	850	850	H23	850
	実績	人	982	1,028	618	H28	850
	達成率	%	115.5	120.9	72.7	-	-
	ベンチマーク					-	-
参考指標① 備前市国際交流協会会員数(個人)	目標	人	95	95	95	H23	100
	実績	人	72	90	92	H28	110
	達成率	%	75.8	94.7	96.8	-	-
	ベンチマーク					-	-
参考指標② 備前市国際交流協会会員数(法人)	目標	法人	12	12	12	H23	12
	実績	法人	25	14	13	H28	15
	達成率	%	208.3	116.7	108.3	-	-
	ベンチマーク					-	-
参考指標③	目標					H23	
	実績					H28	
	達成率	%				-	-
	ベンチマーク					-	-

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)												施策への貢献度 ☆☆☆☆ ~ ☆☆☆ ☆☆ ☆ *H20終了	
				平成20年度				平成21年度				平成22年度					平成23年度
				直接事業費	人件費	人工数	当予算(直接事業費)	直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	当初予算(直接事業費)			
1 国際交流事業	C	韓国文化交流事業	単市	614	1,348	0.19	0	228	0.03	1,205	3,051	0.36	754	☆☆☆☆			
		オーストラリア姉妹都市交流事業	単市	380	889	0.12	0	152	0.02	346	1,430	0.18	1,349	☆☆☆☆			
		国際交流支援業務	内部管理	311	244	0.03	0	93	0.01	0	1,079	0.14	0	☆☆			
		県南オーストラリア州友好協会会費	内部管理	10	0	0.00	10	0	0.00	10	0	0.00	10	☆☆			
		県国際交流協会会費	内部管理	10	0	0.00	10	0	0.00	10	0	0.00	10	☆☆			
		市国際交流協会助成金	内部管理	58	291	0.05	47	683	0.09	38	0	0.00	38	☆☆			
		中国雑技団招聘事業	補助	300	889	0.12								0	*H20終了		
		県日中懇話会会費	内部管理	10	0	0.00	10	0	0.00	10	0	0.00	10	☆☆			
2 国際交流ヴィラ管理事業	C	多文化共生事業	内部管理	0	116	0.02	0	0	0.00	0	76	0.01	0	☆☆			
		国際交流ヴィラ管理運営事業	内部管理	2,885	732	0.12	3,121	870	0.11	2,070	700	0.09	2,979	☆☆☆			
		国際交流ヴィラ運営協議会負担金	単市	356	93	0.01							0	*H20終了			
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度										
				4,934	4,602	0.66	3,198	2,026	0.26	3,689	6,336	0.78	5,150				

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
学校教育課	ALT事業	児童・生徒にも交流の機会を設けることができる。
市国際交流協会	英会話講座の開催	市国際交流協会会員が英会話を学ぶことができる。

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	市国際交流協会の会員及び八塔寺国際交流ヴィラの利用が増えることにより国際交流が進展する。	
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	3	国際感覚を養うための交流事業並びに国際交流ヴィラの運営は、引き続き実施する必要があることから、事業構成は適当である。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	国際交流ヴィラの利用者数は震災等の影響で減少した。市国際交流協会の会員数は、目標数には達していないため、新たな事業展開をしながら引き続き会員の増加に努める必要がある。	
進行年度(H23年度)の取組内容(課題解決状況)	本年度は、韓国及びオーストラリアへの派遣事業が主であり、市民との交流事業を協会役員により計画・実施していく。備前、吉永地域で英会話教室を開催しており、国際感覚を養っていくため、引き続き実施する。		
翌年度(H24年度)の取組目標	今後も国際交流の重要性はますます増大していくことから、市民にもっとアピールしていく必要がある。八塔寺国際交流ヴィラの利用者数は一時的に減少したものの、概ね順調に推移しており、引き続き適正管理に努める必要がある。		
二次評価者コメント	国際交流は、これからの社会の中で重要になるので、行政として、国際交流事業を推進するため、市国際交流協会を積極的に支援する必要がある。		
役職	市民生活部長		
氏名	野上 茂之		
		基本施策への貢献度 3 中立	